

ウイズ・セイビア 救世主とともに (2020年8月23日収録) 担当:石田 2020年9月27日

- 1 「第1章」宇宙存在ヤイドロンが主の身辺警護、米国のUFO公表、もう隠せない時代。
- 2 コロナ後の予想: 危機を起こそうと、バラ撒かれた。中国は責任回避の言い訳ばかり。
- 3 感染が億の単位になるのは時間の問題。嘘を突き通す中国、逆に仕掛ける国家の可能性、ウイルス戦争があるかも。気象兵器などを作る研究も、兵器か自然か分からぬ。(A.Ein)
- 4 地上は魂修行の場、監視されている。疫病蔓延、大陸陥没などの警告を発し、最終段階は文明の消滅まで行く。その間に立ち直りを期待されている。平時は介入できないが、今は違う。危機だからこそ、救世主が降臨し、宇宙人側の意思を伝えるチャンスもある。
- 5 今回の共産党ウイルスで、神を信仰する遺伝子が、食い尽くされる危機。いかに無害化するかの舞台が与えられている。今まで、地球人だけの考え方で地球が運営されてきた。唯物論・無神論・不可知論は間違い、どの辺で地球人が信仰に目覚めるかをみている。
- 6 中国の覇権は対米、対インド、対イスラムの三つの戦いを乗り越えないと勝利はない。ものすごい数の宇宙存在が観に来ていて、介入し始めている。宇宙人の修行の場破壊を阻止。
- 7 もう一つの問題は、「知識共産主義」。知識権力集団による独裁が同時進行している。知識の独占・寡占によるマスコミ権力の民衆支配。米国では、大統領が個人で戦っている。知識権力主導のBLM運動、都市占拠などを不支持のサイレントマジョリティーは怖くて声を出せない。
- 8 中国は「専制的な知識の選択と押し付け」、米国では「自由主義下での知識権力の弱肉強食」が発生。インテリ左翼の知識万能主義、知識がパワーとなり、全体主義化している。
- 9 次の革命は「知識独占の権力者」との戦い。権力者たちが持っていない知識を宇宙から発信して、権力を無力化させている。宇宙人からのメッセージそのものが、強力なパンチ。
- 10 知識を独占し、人民を支配する体制に風穴をあける。米国のUFO情報開示もその一環である。日本では、マスコミ権力が政治を骨抜きにし、傀儡にすることもできる。大学申請の取り下げ指導。学会、マスコミなどは宗教者の論をオカルト扱いし、無視。「ポールシフト」出版。
- 11 中国は李発言でGDP日本の2-3倍が嘘だとバレた。内部に呼応する勢力を作り、改革を開始。習の韓国国賓訪問は、中国の孤立化を示す。ソ連のように国家としての崩壊へ。
- 12 米国の政治家は経営の経験が無く、国家を衰退させた。トランプを「反知性主義」と揶揄しているが、宇宙存在者はトランプ再選後もトランプ的な人を選ぶつもり。(地球操作?)
- 13 日米の知識人はトランプを「分断主義者」と批判するが、バイデン当選なら、中国に融和的となり、「第二のヒットラー」を中国に誕生させる。「触らぬ神に祟りなし」扱いする。
- 14 日本の裏政権とはマスコミのこと。マスコミの知力の限界が政治の限界である。受け皿は無く、しばらく混乱が続く。今年の経済崩壊は相当なもの。戦後政治の崩壊、膿み出し。
- 15 ゴールデンエージとは「崩壊」と「新たな建設」の時代。科学万能主義信仰は終わる。人間の精神エネルギーのほうが高い、これに感應する装置が必要。実は宇宙科学である。
- 16 創世紀をもう一回始める覚悟を強めるべし。人類の慢心を断ち、救世主の降臨を伝えろ。降臨した救世主エルカンターレは他の銀河のメシアをも指導する偉大なる指導者である。
- 17 「第2章」エルダー星は靈格に応じて職業が決まる。心靈スキャンで靈格がわかる。靈体でも肉体でも存在できる。ヒマラヤ系聖者アデプト人類? 地球に蔓延するフェイクサイエンス。
- 18 このままでは、地球の進化は難しい。文明消滅の危機だが、「貴重な生命実験の場」を守る必要がある。やがて、全世界のインテリとか、知識層を全て敵に回す時期が来る。どの程度で仕事納めにするか、私達宇宙の側近が考えている。Q アノン右派陰謀論との関係?